

タブレットを活用した廃棄物監視指導業務等の変革

○取組前の状況

廃棄物に関する苦情等の電話を本課（本庁）で受け、監視指導中の地区担当者へ電話により情報提供していた。

<問題点>

苦情内容の伝達に時間がかかる。現場の位置説明が困難。苦情内容等の伝達漏れのおそれ。担当者がその場で全部を把握することが困難。

→案件によっては、当日対応ができないことも！

○取組の概要

各担当職員が産業廃棄物の不適正処理の現場における指導状況の確認など、効果的な監視指導を行うための、以下の機能を持ったアプリを構築

①GISを利用し、指導地点を地図上にプロット、閲覧する機能

②各地点での指導経過や写真入力、閲覧する機能

③モバイルパソコンからでも作業が可能

→今後は、各指導箇所のデータを蓄積する。

○期待される成果

各指導箇所のデータを蓄積することにより、事務の効率化、時間短縮が図られる。

- ・人事異動の際の確実な引き継ぎ
- ・現場で過去と現状の経緯変化を速やかに確認
- ・現場の状況などを本庁でリアルタイムに確認

具体的な内容

①現場担当者への迅速・確かな情報伝達

苦情受付

本庁

地区担当者

(成果)

- ① 苦情内容の伝達時間の短縮
- ② 苦情現場到達時間の短縮
(現場までのルート検索)
- ③ メールによる伝達事項漏れ防止
- ④ メールによる目による内容確認

②現場の情報収集及び共有

撮影場所

(成果)

- ① 現場状況の情報共有が短時間で可能
- ② 現場写真を地図上でプロットが可能
- ③ 経緯変化を見ることができる

③原因者への効果的・効率的な指導

廃棄物処理法の解説

(成果)

- ① 目により事実認識させることができる
- ② 廃棄物処理法に関して解りやすく指導することができる